

パネルディスカッション開催のお知らせ

桜美林大学 健康福祉学群主催

「誰一人取り残さない」
一人ひとりが
生き生き輝く
社会をめざして



イベント概要

インクルーシブ教育の推進により、教育現場や職場での合理的配慮が進んでいます。困難を抱えていても自分らしく学び、働き、社会で活躍できるよう支援するための実践的な知見を、高校・大学・企業の立場から発信。

当事者の声を通じて、よりインクルーシブな社会の実現に向けたヒントを探ります。

プログラム

1. 開会 趣旨説明
2. 登壇者プレゼンテーション
3. 質疑応答
4. 閉会

進行：桜美林大学健康福祉学群
准教授 山口裕貴

場所

桜美林大学町田キャンパス 太平館 BT200

JR横浜線淵野辺駅よりスクールバスで8分

対象

教職員、企業・福祉関係者、学生、保護者、一般市民など

後援：東京都教育委員会 町田市教育委員会 相模原市教育委員会（申請中）

問い合わせ先

ご予約フォーム

桜美林大学 健康福祉学群 特任教授 山口真佐子

✉ yamaguchi_m@obirin.ac.jp



登壇者プロフィール

清水 浩 氏

帝京大学理工学部 教授／博士（教育学）

栃木県立特別支援学校、宇都宮大学教育学部附属特別支援学校教諭、山形県立米沢女子短期大学教授を経て2021年より現職。現在は学習支援室長を兼務。今回は、学習支援室での取り組みを中心に、大学における支援の現状と課題について報告。

藤岡 雄一郎 氏

東京都立稲ヶ丘高等学校 副校長

東京都立特別支援学校を経て、現在は都立高等学校単位制・総合学科のチャレンジスクールに勤務。卒業後の進路や働くことを見据えた教育課程、多様な学びの場・居場所を整備し、インクルーシブ教育を推進する学校の実践を紹介。

平岡 典子 氏

株)サントリービバレッジソリューション 人組織開発部副部長／DEI推進室長

企業でDEI（ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン）を担当。誰もがイキイキと輝ける社会を目指し、新たな取組にチャレンジ。障がいのある子を育てる母親としても、子どもたちの可能性と未来を育む活動にも注力。

高橋 弦也 氏

ブルームバーグ 人事部 Japan Inclusion External Partner

政府系金融機関、医療機器商社を経て2019年にブルームバーグ入社。2024年より採用チームとインクルージョンチームを兼任。障害のある学生のキャリア構築に必要な視点を自身の経験とともに紹介。

仲田 里音 氏

ブルームバーグ マーケティング部

両上肢・両下肢に機能障害があり、電動車椅子を使用。青山学院大学在学中にインターン参加後、2024年に入社。現在は翻訳業務などを担当。重度身体障害当事者として、学生時代の就職活動の経験を紹介。

中込 安政 氏

ブルームバーグ データ部

発達障がい（ASD, ADHD）の当事者。前職は大手農業法人本社経理部にて一般就労。2020年にブルームバーグ入社。自身の興味や強みを活かした働き方を通じて、多様な働き方の可能性を紹介。

桜美林大学
アクセス方法はこちら

